



# 広報もとみや 号外

平成26年  
5月14日発行  
本宮市  
秘書広報課  
☎33-1111

No.42

## 自生の山菜類は 食べる前に測定してください



今年も山菜のシーズンとなり、野山で山菜を採る姿が多く見られるようになりました。福島県や市の農産物モニタリング検査では、山菜類が高い値を示す傾向があります。タケノコ、たらの芽、コシアブラなど野山に自生している山菜類は食べる前に、市のモニタリングセンターで測定をしてから、食べられるかどうか判断されることをお勧めします。

### 農作物のモニタリング状況

■市内自家用農産物の持込み 上位25品目【平成26年4月分】

No.	品名	件数	検出されたものの内訳(単位:ベクレル)			
			検出数	最小値	最大値	100ベクレル以上の検出数
1	タケノコ	33	20	10.58	190.20	3
2	茎立菜	20	2	11.05	15.93	0
3	ワラビ	12	4	13.41	56.93	0
4	たらの芽	11	8	43.74	411.00	5
5	ニラ	8	1	16.44	16.44	0
6	ウド	6	0	検出せず	検出せず	0
7	葉玉ねぎ	6	0	検出せず	検出せず	0
8	コシアブラ	5	4	581.17	3,486.39	4
9	フキ	5	0	検出せず	検出せず	0
10	ネギ	4	0	検出せず	検出せず	0
11	アブラナ	3	0	検出せず	検出せず	0
12	ミツバ	3	0	検出せず	検出せず	0
13	ウコギ	3	2	16.86	99.31	0
14	ブロッコリー	3	1	11.34	11.34	0
15	からし菜	3	1	12.05	12.05	0
16	小松菜	2	0	検出せず	検出せず	0
17	大豆	2	0	検出せず	検出せず	0
18	こごみ	2	0	検出せず	検出せず	0
19	大根	2	0	検出せず	検出せず	0
20	ゼンマイ	2	1	11.69	11.69	0
21	タケノコ(煮)	2	1	23.39	23.39	0
22	ナノハナ	2	0	検出せず	検出せず	0
23	ふきのとう	2	0	検出せず	検出せず	0
24	ほうれん草	2	0	検出せず	検出せず	0
25	小豆	1	1	20.97	20.97	0

※最大値がキログラムあたり100ベクレルを超えた品目を反転表示しています。

【市からのお願い】広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。閲覧される場合は、なるべく早く次の方に閲覧していただきますようお願いいたします。

### 自家用農産物の放射性物質検査は、 本宮、荒井、白沢の3カ所で行っています

◆**申込方法** 事前予約

◆**申込窓口** モニタリングセンターまたは次の測定所にお越しいただくか、電話でお申し込みください。  
本宮市放射能除染・モニタリングセンター  
本宮字万世26-13  
☎63-2682

・白沢測定所  
和田字石上127  
(白沢老人福祉センター内)  
☎44-2706

・荒井測定所  
荒井字茶園5  
(荒井地区公民館内)  
☎24-8781

◆**受付時間**  
午前9時から午後5時  
(土・日・祝日を除く)

◆**検査対象**  
・市民の方がご自身で栽培し、ご自身で食べる自家用農産物  
・第三者から譲渡された品目  
・山菜類、魚介類

◆**費用** 無料

◆**検査の対象にならないもの**

・購入したもの(放射性物質の安全性は販売元へご確認ください)  
・販売を目的とする農産物  
・土壌、がれき、稲わらなど農林水産物以外のもの

◆**測定する農産物の持参方法**

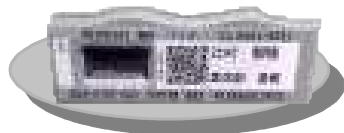
測定する農産物500グラムを、必ず水洗いし玄米の大きさ程度に細かく刻んでお持ちください。なお、皮付きのまま食べるものは皮付きのまま、皮、ヘタ、種を取り除いて食べるものは、取り除いてから刻んでください。

◆**その他** 当日は、指定された測定日時の5分前にお越しください。測定時間は30分から50分程度です。

◆**問い合わせ先**

放射能除染・モニタリングセンター  
☎63-2682

# ガラスバッジ測定結果を お知らせします



平成23年9月から、中学生以下の子どもと妊婦の皆さんがガラスバッジを着用し、積算線量を測定しています。

平成25年度3回目（12月・1月・2月）の測定結果がまとまりましたのでお知らせします。

## 平成25年度3回目の測定結果について

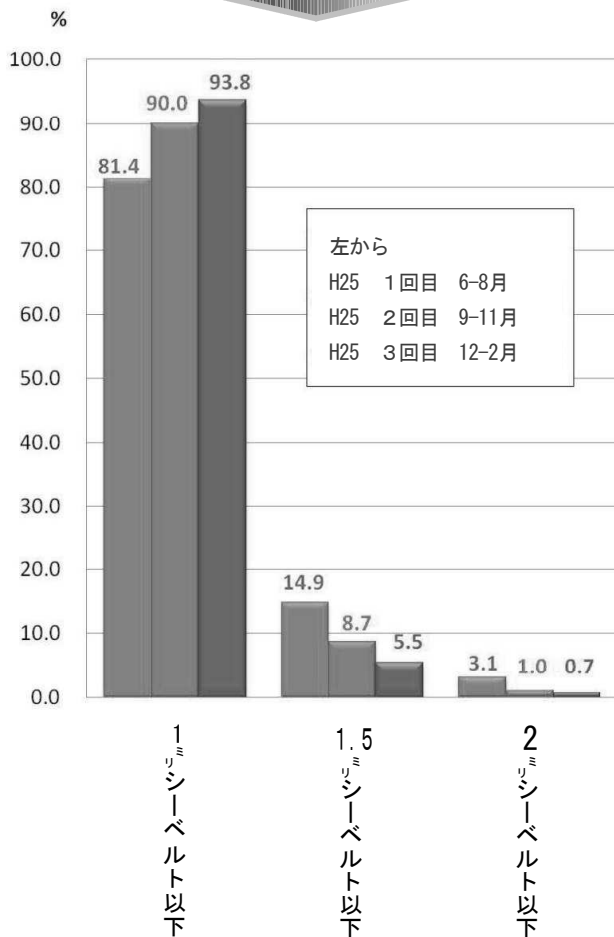
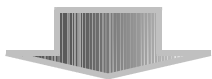
ガラスバッジ回収人数は4,035人で、最小値は検出限界未満、最大値は0.68ミリシーベルト、全体の平均値は3カ月で0.14ミリシーベルトでした。

## これまでの結果について

ガラスバッジによる線量の測定を行った平成23年9月から平成26年2月まで、3カ月かごとの平均値の比較は、次のようになりました。

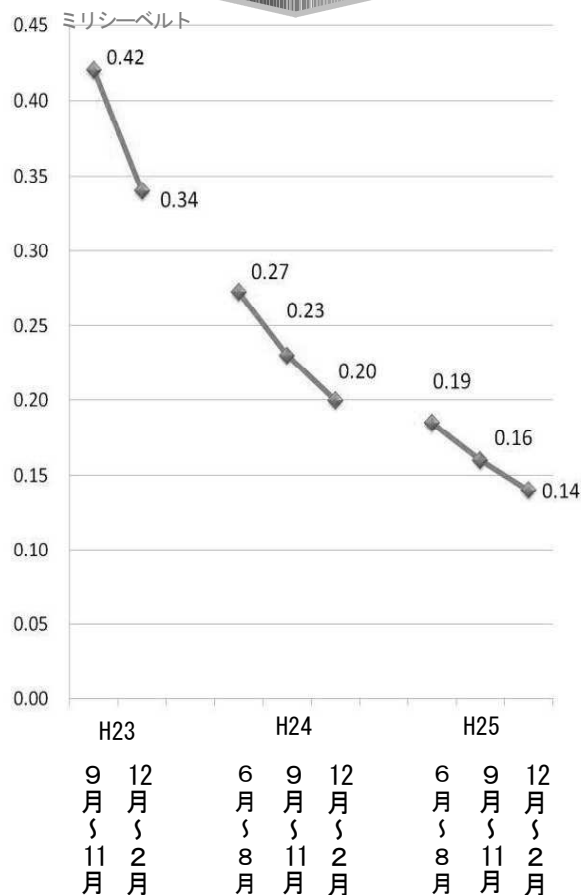
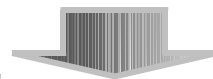
■ガラスバッジ年間推計積算線量別構成比

年間推計積算線量	H25 1回目 (6~8月)		H25 2回目 (9~11月)		H25 3回目 (12~2月)	
	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比	人数(人)	構成比
年間1ミリシーベルト以下	3,029	81.40%	3,649	90.00%	3,785	93.80%
年間1.5ミリシーベルト以下	554	14.90%	354	8.70%	222	5.50%
年間2ミリシーベルト以下	140	3.70%	51	1.30%	28	0.70%
合計	3,723	100.0%	4,054	100.0%	4,035	100.0%

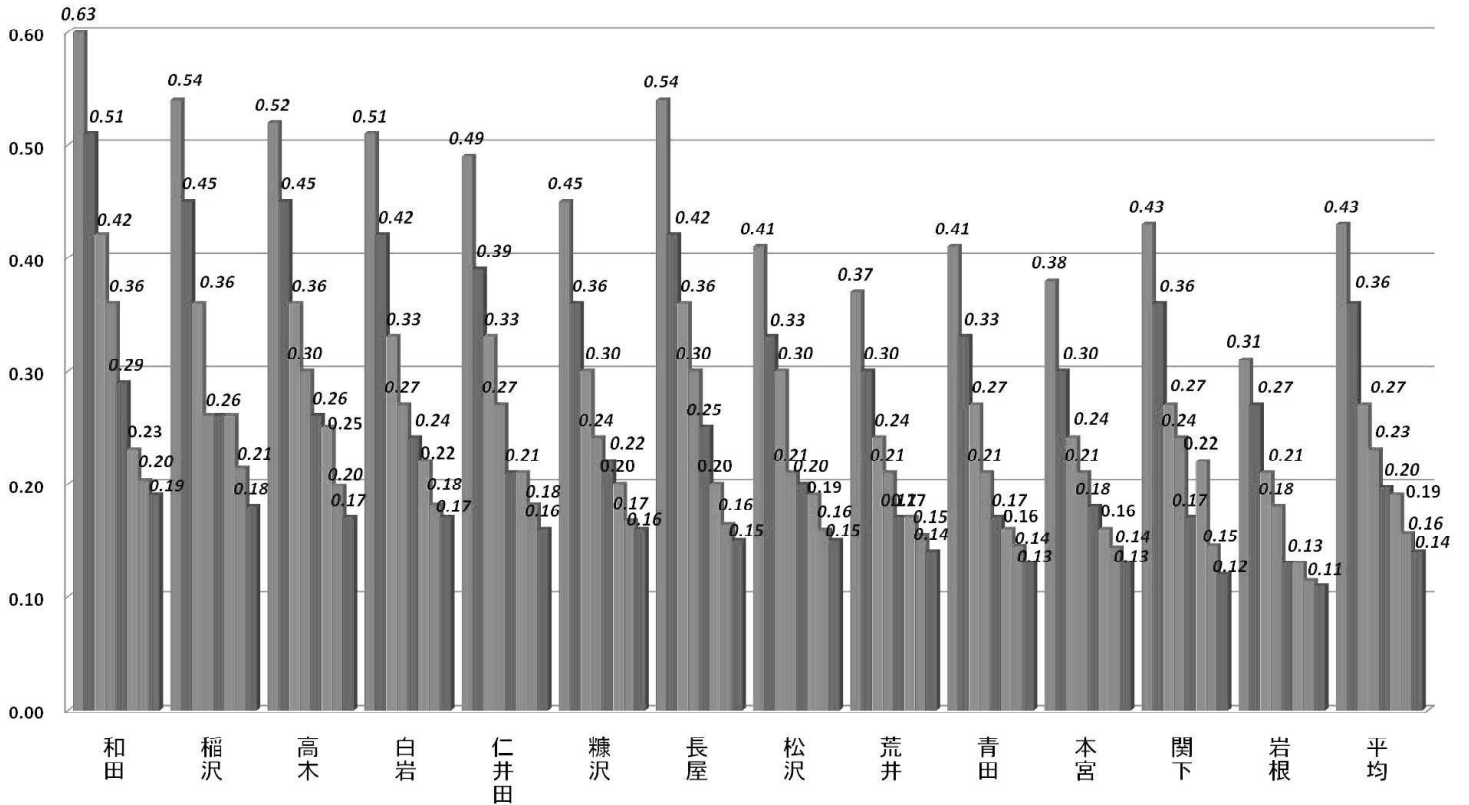


■ガラスバッジ平均値の推移 (ミリシーベルト/3カ月)

平均値	年度	9月・10月・11月	0.42ミリシーベルト
		平成23年度	12月・1月・2月
平成24年度	6月・7月・8月	0.27ミリシーベルト	
	9月・10月・11月	0.23ミリシーベルト	
平成25年度	12月・1月・2月	0.20ミリシーベルト	
	6月・7月・8月	0.19ミリシーベルト	
	9月・10月・11月	0.16ミリシーベルト	
		12月・1月・2月	0.14ミリシーベルト



■地域別ガラスバジ測定値（3カ月平均値）の推移（ミリベルト/3カ月）



【棒グラフの説明】

左から平成23年度9月～11月、平成23年度12月～2月、平成24年度6月～8月、平成24年度9月～11月、平成24年度12月～2月、平成25年度6月～8月、平成25年度9月～11月、平成25年度12月～2月の順の3カ月平均の測定値

◆問い合わせ先  
保健課（えぼか内）  
☎ 63-2780

この結果から、本宮市放射線健康リスク管理アドバイザー野口邦和先生より次のとおりアドバイスをいただきました。

これは、子どもさんや妊婦さんを取り巻く環境の間線量率が時間経過にもなって減少していることを意味し、好ましい結果です。

一方、回を重ねるたびに減りつつあるとはいえ、3カ月当たり0.25ミリシベルト以上（年1ミリシベルト超）の割合が6.2%あり、今後もガラスバジを正しく着用し測定値の推移を見ていく必要があります。

野口先生のアドバイス!



全体の状況として、3カ月当たりの平均線量が回を重ねるたびに減り続けて0.14ミリシベルトになりました。

井戸水のモニタリング検査結果について

飲用の井戸水の測定依頼があった場合は、専門機関へ依頼し、測定を実施していますが、現在まで放射性物質は検出されていません。

なお、検査にかかる費用は無料です。

◆問い合わせ先  
放射能除染・モニタリングセンター  
☎ 63-2682

水道水のモニタリング検査結果について

市の水道水については、週3回（月、火、金）検査を行っており、放射性物質は検出されていませんので安心してご利用ください。

◆問い合わせ先  
上下水道課 ☎ 33-1111（内線119）

# 白岩・稲沢・松沢地区でも除染開始！

## ■現在の状況は

住宅除染は、本宮市除染実施計画に基づいて進めています。

住宅除染が終了しているのは和田・長屋・高木井戸上地区となり、現在は高木井戸上地区以外の高木・仁井田・関下・白岩・稲沢・松沢地区で除染作業を進めています。

また、関下地区の仮置き場は造成が完成し、現在、搬入作業を行っています。高木地区の仮置き場は、間もなく完成となり、準備が完了次第、搬入を開始します。仁井田・稲沢・松沢・岩根入矢沢地区の仮置き場は、造成に向け設計を行っています。

## ■仮置き場について

市では、各地区で実施する住宅等の除染作業により発生した土砂などを一時的に保管するため、仮置き場の整備や場所の選定を進めています。仮置き場は、住宅除染を効率的に進めるうえで必要不可欠なものであるため、設置についてのご協力をお願いします。

## ■住宅除染の準備を

これから住宅除染が始まる地区では、敷地内の作業に支障となるものの片づけを願っています。除染作業を加速し、早期完了するためにも、皆様のご協力をお願いします。

## ◆問い合わせ先

放射能除染・  
モニタリングセンター

☎ 63-2682

## 仮置き場を視察して

佐藤 カネ子さん  
(和田字大木内)



和田11区のふれあいサロンで、和田地区の各家庭を除染した土の入ったフレコンバッグが置いてある和田地区

の仮置き場を視察見学しました。

当日の参加者は23人で、和田11区の集会所で市の放射能対策課の職員の説明を受けてから、仮置き場に向かいました。

仮置き場は、驚くほどに整備されており、フレコンバッグも搬入された後、遮水シート等で覆われ、安全に保管されていることを確認しました。

仮置き場内の空間線量の数値は、1時間で0.08～0.12マイクロシーベルトで推移しており、フレコンバッグを集めて置いても数値が低いことが分かりました。

今回の視察研修に参加したことで、仮置き場の空間線量は、私たちの想像以上に低く、安心・安全に施工されていることが理解できました。



▲住宅除染の様子

## お詫びと訂正

平成26年5月1日発行の広報もとみや5月号（No.88）の掲載記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

○15ページ  
こどものひろば  
地域子育て支援センターの電話番号

【誤】 33-2370  
【正】 33-4370

○26ページ  
第7回本宮市写真コンクール入賞作品  
入賞者（市民部門）

【誤】 安宅 初枝さん  
【正】 安宅 初枝さん